

二月のことば

3学期が始まって、あつという間にひと月が過ぎました。クリスマスのお片付けから始まり、十年に一度の大寒波も乗り越えて、子どもたちはさらに遅くなりました。この厳しい寒さを地面の中で過ごす花があります。その代表が、チューリップです。寒い冬を、土の中で過ごし、暖かくなると芽を出し、茎を伸ばして、春には色とりどりの花を咲かせてくれます。一年で一番寒いと思うこの季節は、チューリップにとって新しい季節に向けてすくすく伸び、根を伸ばし、栄養を蓄えて、芽を出す準備をする大切な時期です。左記の聖書箇所は、種がどのように成長するのかを私たちが知らなくても、土はひとりでに実を結ばせると伝えていますが、神様が降かれた種は、あらゆる場所、あらゆる人に注がれていて、土の中で長い時間をかけて、栄養を蓄え、芽を出し、花を咲かせることができるように、時運るときに花開くことができます。神様は、私たちが芽を出し、花をさかせることができるように、必要な栄養を与えてくれます。その栄養を無駄にしてしまうのではなく、しっかりと心に蓄えてほしいと思います。成長させてくださる神に感謝して、残りの3学期を一步ずつ歩んでいきたいと思えます。

「人が土に種を蒔いて、夜昼、寝起きしているうちに、種は芽を出して成長するが、どうしてそうなるのか、その人は知らない。土はひとりでに実を結ばせるのであり、まずは茎、次に穂。そしてその穂には豊かな実が出来る。(聖書)」

◎二月の保育目標

『優しい心と強い身体』 響きあつて

【聖句】『悪に負けてはいけない。かえって、善を持って 悪に勝ちなさい』

- † 寒さに負けないで戸外で身体を動かして元気に遊ぶ。(マラソン・縄跳び・鬼ごっこ)
- † 冬の生活習慣を身につける。(手洗い・うがいの徹底)
- † お互いの違いを認めつつ、助け合える喜びを感じ
- † 友だちと協力し、アイデアを出し合いながら工夫して遊びを充実させる。
- † 季節の変化を感じ取りながら、さまざまな自然事象に興味・関心を持つ。(森・山・川・海・空・大地)
- † 病気のお友だちや世界中の困っているお友だちのためにお祈りをする。

◎二月の行事予定

- 十三日(金) 節分・豆まき
- 十七日(金) 生活発表会 9時半〜
- 二十一日(火) 茶道教室(年中・年長組)
- 二十四日(金) おお誕生日会
- 二十七日(月) 避難訓練(地震想定)
- 二十八日(火) お話クラブさん来訪

- ・ 体育教室 八日・二二日
- ・ 英語教室 十日・十五日
- ・ 音楽教室 二日・九日・十六日

◎一月の行事報告

☆10日(火)、第3学期の始業式を行いました。冬休みの間

家庭で元気に過ごしてきた子どもたちが久しぶりに登園し共に礼拝を守り三学期を始めることが出来ました。早速、この日から朝のマラソンも始まりました。寒さに負けず、戸外に出て身体を動かして一日の始まりにしていきたいと思えます。

☆17日(火)、朝の礼拝後、クリスマス献金を、ウクライナの戦禍の中で困っているお友だちの所に届けるために郵便局に送金に行き『神さまのご用のお手伝い』をしてきました。
※MEMO 世界児童救済機構 日本委員会 ウクライナ救済基金 西宮透

☆23日(月)から25日(水)の三日間、学年末の子どもたちの成長の様子を保護者の方にご覧いただくために自由参観日を行いました。英語教室、お話クラブ読み聞かせ等、平日の行事でしたが、多くの保護者の方が来てくださり、子どもたちの生活の様子を観てくださいました。子どもたちも保護者の方に来てくださると、ちよつびり嬉しそうでした。ここまで、こんなに大きく成長させてもらったこと、神さまの祝福、お守りによるものと感謝いたしました。最終日の25日(水)は、大寒波による積雪のために休園となりました。

☆30日(月)、杵築速見消防組合杵築消防署の隊員の方が見えてくださり、消防署立ち合いの避難訓練を行いました。子どもたちも、落ち着いてグラウンドに避難でき、「おは、しーもいせな、いせな、いせな」が大変よく守れていると褒められました。消防士さんのお話を聞いたり、先生たちの消火訓練を見たあと、消防査察軍を見せられました。防火服も着せてもらって皆、大喜びでした。災害は、いつ起こるかわかりません。訓練を繰り返す中で、子どもたちには自分の身を守るためにはどうすればよいか、しっかりと身につけて欲しいと願っています。

◎お知らせ◎

新学期用品の申込み書をお持たせ致します。ご記入の上、20日(月)までに提出ください。代金は後日、雑費袋で徴収いたします。申込み書のみをお持たせください。



節分 『鬼はそと！福はうち！』 2023.2.3